

施 工 要 領 書

製 品 名	白木のカビ取り漂白	カビトップエコ	まぜるな危険！ 酸性タイプの製品と一緒に使う(まぜると)塩素ガスが出て 危険 です。
用 途			
<ul style="list-style-type: none"> ■ 木部のカビ・日焼け落とし。 ■ 白木の漂白。 ■ 古家(増改築)あく洗いの仕上げ。 			
使 用 方 法			
<p>① 施工面のゴミ・ホコリ等を予め除去してください。</p> <p>② 施工しない箇所や周辺基材を養生してください。</p> <p>③ カビ・日焼けの程度に応じてカビトップエコを水道水で2～10倍に希釈してお使いください。</p> <p>④ 薬品用ハケに適量を含ませてから、施工面に均一に塗布してください。 ※特に垂れジミに注意してください。ポタ塗りは控えて部分的な薬剤の溜まりや垂れは塗り延ばしてください。 ※使用分量だけポリバケツ等に入れてお使いください。金属容器は使用しないでください。 ※日焼けを取るときは、全体的にムラのないように5～10倍位に希釈したカビトップエコを塗って仕上げてください。日焼けが取れていないときは、この作業を繰り返してください。 ※希釈倍率や放置時間によって本来の木の色より白く仕上がる場合があります。特に米松・杉等の赤味の強い木に使用する際は、赤味がなくなるように5～10倍位に水道水で希釈してお使いください。</p> <p>⑤ 十分に水洗い又は水拭きしてください。</p> <p>⑥ 乾燥後、白い粉(塩分)が残っている場合は、さらに水洗い又は水拭きをしてください。 ※カビトップエコの残留物(塩分)が放置されると気象条件によっては発火したりカビが生え易くなる場合があります。 ※頑固なカビには弊社商品強力カビ取り剤『カビスケ』をお使いください。 ※古家あく洗いの際は、弊社商品あく洗い自慢(エコタイプ)『アクトップエコ AB』および『シミトップエコ』であく・シミ・汚れ等を落とした後にカビトップエコで仕上げると、よりきれいに仕上がります。 ※『アクトップエコ AB』『シミトップエコ』『カビスケ』の使用方法等につきましては、各商品の施工要領書等をご参照ください。</p>			
標 準 使 用 量(原液使用時)		5～10㎡/ℓ	※使用量は基材によって多少異なります。
使 用 上 の 注 意			
<p>① 施工要領書、使用上の注意及び SDS をよく読み、ご使用前に貴社使用条件及び目的に適合するか、充分検討の上ご採用ください。本施工前に必ずテスト施工を行い施工面及び周辺基材への影響をご確認ください。漂白効果がありますので、必ず目立たない部分でテストしてください。</p> <p>② 建築用木製二次製品(貼り板・単貼板合板・合板・フローリング材・集成材等)に使用する際、場合によっては表面材や内部の接着剤等に影響を及ぼす恐れがありますので、事前のテスト施工により不具合がないことをご確認の上、ご使用ください。</p> <p>③ エアレス・スプレー・噴霧器等で絶対に施工しないでください。</p> <p>④ カビトップエコにシミトップエコや酸性タイプの製品を混ぜたり、よく乾かないうちに塗り重ねると塩素ガスが出て危険です。特に、トイレ・風呂場等の風通しの悪い場所で使用すると、塩素ガス中毒になる恐れがあります。ご注意ください。</p> <p>⑤ 水道水以外のものと混合しないでください。作業するときは換気をよくし、必要に応じて局所排気設備のある所で作業してください。</p> <p>⑥ 必ず適切な保護具(ゴム手袋・保護メガネ・防毒マスク等)をお使いください。取り扱い後は手洗いを充分行ってください。</p> <p>⑦ 乾燥後、塩分が残りますので必ず十分に水洗い又は水拭きをしてください。カビトップエコが付着したまま、かなやサンダーをかけたり、紙・木屑・衣類等に付着したまま乾燥すると発火の原因になりますので、必ず十分に水洗い又は水拭きをしてください。</p> <p>⑧ ワックスや塗料を塗布する場合は、カビトップエコを使用後、十分に水洗い又は水拭きをして十分に乾燥させてから塗布してください。塗装するときは変色の恐れがありますので試し塗りの上お使いください。</p> <p>⑨ タタミやジュウタンなどにこぼれると変色しますのでご注意ください。</p> <p>⑩ 芝・植木・池等の近くで作業するときは必ず養生の上ご使用ください。金属類・天然繊維類等は腐食しますので、必ず養生の上お使いください。また、これらの基材に付着した場合は速やかに水洗いしてください。</p> <p>⑪ 口や目に入ったとき、手や皮膚・衣類についたときは、速やかに充分な水洗いをし、医師の診察を受けてください。</p>			

- ⑫子供の手の届かない冷暗所に密栓して保管してください。運搬目的以外での車内保管や別の容器に移しかえての保管はしないでください。
- ⑬一度別の容器に移した液はもとの容器に戻さないでください。開封後はなるべく早くお使いください。
- ⑭製品有効期限がすぎますと容器が経年劣化して、中身が漏れ出すことがありますので注意してください。また製品有効期限内でも高温多湿などの条件下に保管されますと容器の劣化が進み中身が漏れ出すことがありますのでご注意ください。
- ⑮用途以外には使わないでください。施工に専門知識・技術を要するため、業務用として販売しています。一般の方はご使用をお控えください。

※作業者及び第三者の安全確保のために必ず適切な措置をとってください。

※排水・臭い・揮発ミスト・植物等の環境への影響について事前確認の上、必ず適切な措置をとってください。

●ホルムアルデヒドを含有する原料は一切使用しておりません。

●製品改良のため、より適切に使用していただくため、予告なく内容を変更する場合があります。

製品有効期限:未開封冷暗所保管で製造より1年